取扱説明書

⚠警告 安全のために

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への
危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、
次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、お買い求めいただいた販売店へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら煙が出たら	→	❶ 電源を切る ❷ 電池をはずす

万一、異常が起きたら

① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液 や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
③ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
④ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

プラグをコンセントから抜く

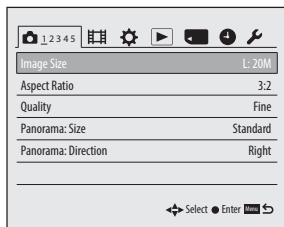
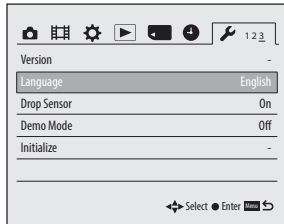
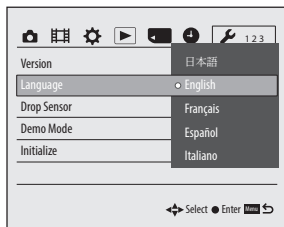
指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

初期設定

Stellar II をお買い上げ頂きありがとうございます。
お買い上げ時のカメラの表示言語は英語に設定されていますので
日本語にするにはMenu画面より、下記の手順で設定して下さい。

1 **[Setup]** を選択し、コントロール ホイールの中心を押して決定する。

2 **[Language]** を選択し、コントロールホイールの中心を押して決定する。
（選択はコントロールホイールの上△または下▽のボタンを押して下さい。）

3 日本語を選択し、コントロールホイールの中心を押して決定する。

お使いになる前に必ずお読みください

メモリーカードのバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーやメモリーカードを取り出したりすると、メモリーカードのデータが壊れることがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

本機搭載の機能について

・ 本機は1080 60i対応機です。
・ 本機は、1080 60pの動画に対応しています。1080 60pとは、従来の標準的な記録モードがインターレースで記録するのとは異なり、プログレッシブで記録します。これにより解像度が増え、滑らかでよりリアルな映像を撮影することができます。

管理ファイル作成について

管理ファイルが作成されていないメモリーカードを本機に挿入し電源を入れると、メモリーカードの一部の容量を使って自動的に管理ファイルを作成するため、次の操作まで時間がかかることがあります。管理ファイルエラーが発生した時は、「PlayMemories Home」ですべての画像をパソコンに取り込んでから、本機でメモリーカードをフォーマットしてください。

録画・再生に際してのご注意

・ メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
・ 長期間、画像の撮影・消去を繰り返しているとメモリーカード内のファイルが断片化(フラグメンテーション)して、動画記録が途中で停止してしまう場合があります。このような場合は、パソコンなどに画像を保存したあと、[フォーマット]を行ってください。
・ 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
・ 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「使用上のご注意」もご覧ください。
・ 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
・ 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
・ 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがありま す。
・ 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
・ 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください。
・ 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。

・ フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。フラッシュ表面の汚れが発光による熱で発煙したり、焦げる場合があります。汚れ・ゴミがある場合 は柔らかい布等で清掃してください。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカールツァイスレンズを搭載し、シャープで、コントラストが良い画像を作り出すことを可能にしました。本機のレンズは、ドイツカール ツァイスの品質基準に基づき、カール ツァイスによって認定された品質保証システムにより生産されています。

モニターおよびレンズについてのご注意

・ モニターは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
・ バッテリー残量がなくなると、レンズが出たまま動きが止まることがあります。充電されたバッテリーを取り付けて、再度電源を入れてください。
・ モニターを持って本機を持ち運ばないでください。

フラッシュについて

・ フラッシュ部を持ったり、無理な力を加えないでください。
・ 上がったフラッシュ部に水滴や砂埃が入ると故障の原因になります。

本機の温度について

本機を連続して使用した場合、本体やバッテリーの温度が高くなりますが、故障ではありません。

温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッ セージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。

無線に関連する設定(Wi-Fiなど)を一時的に無効にする

飛行機などに搭乗するとき、無線に関連する設定を一時的にすべて無効にすることができます。

MENU → 🔧 4 → [飛行機モード] → [入]を選択してください。
・ 設定を[入]にすると、モニターに ✈ (飛行機マーク)が表示されます。

認証マークの表示について

本機が対応している認証マークの一部は、
本機の画面上で確認することができます。
MENU → 🔧 4 → [認証マーク表示]を選択してください。
本機の故障などの問題により表示できない場合は、販売店にご相談下さい。

本機で撮影した動画を、他機で再生する際のご注意

- 本機は、AVCHD方式の記録にMPEG-4 AVC/H.264のHigh Profile を採用しております。
  このため、本機でAVCHD方式で記録した動画は、次の機器では再生できません。
  - High Profileに対応していない他のAVCHD規格対応機器
  - AVCHD規格非対応の機器

また、本機は、MP4方式の記録に MPEG-4 AVC/H.264のMain Profile を採用しております。
このため、本機でMP4方式で記録した動画はMPEG-4 AVC/H.264の対応機器以外では再生できません。
- ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクはAVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。
  DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクを再生できません。
  また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質(HD)のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。
- 1080 60pの動画は対応機器以外では再生できません。

機器認定について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
- 本製品を分解/改造すること

この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局(免許を要する無線局)等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1.本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2.万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。

3.その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、販売店。

2.4DS / OF2

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDSSS/OFDM変調方式を採用し、与干渉距離は20m以下です。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

撮影内容の補償はできません

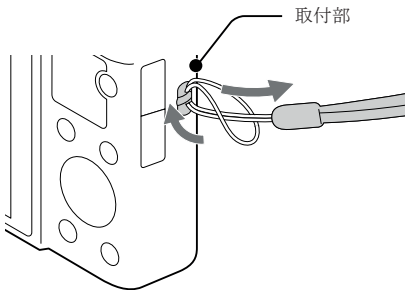
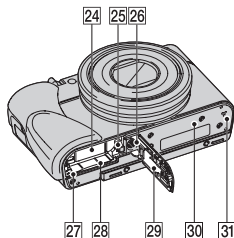
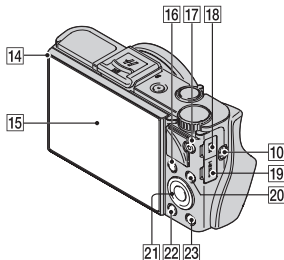
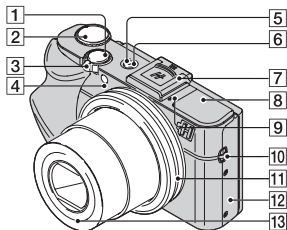
万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

付属品を確認する

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

- リチャージャブルバッテリーパックNP-BX1 (1)
- マイクロUSBケーブル (1)
- ACアダプター (1)
- リストストラップ (1)
- 取扱説明書(本書) (1)
- 保証書 (1)
  保証書はハッセルブラッドの世界標準の保証に準じます。詳しくは、ホームページよりご確認ください 。
- Stellar II のソフトウェアCD-ROM(1)

リストストラップを使う

落下防止のため、ストラップを取り付け、
手を通してご使用ください。

各部の名前を確認する

1 シャッターボタン
2 モードダイヤル
 iAUTO おまかせオート
 iAUTO+ プレミアムおまかせオート
 P プログラムオート
 A 絞り優先
 S シャッタースピード優先
 M マニュアル露出
 MR 登録呼び出し
 ●REC 動画
 スイングパノラマ
 SCN シーンセレクション
3 撮影時:W/T(ズーム)レバー
 再生時:インデックス/
 再生ズームレバー
4 セルフタイマーランプ/
 スマイルシャッターランプ/
 AF補助光
5 電源/充電ランプ
6 ON/OFF(電源)ボタン
7 マルチインターフェースシュー
8 フラッシュ
 ・フラッシュの近くに指を置かないでください。
 ・フラッシュが発光するときは、フラッシュ部が自動で上がります。使わないときは手で押して元に戻してください。
9 マイク
10 ストラップ取り付け部
11 コントロールリング
12 Wi-Fi受信部(内部)
13 レンズ

14 明るさセンサー

15 液晶モニター
- モニターを見やすい角度に調整して、自由なポジションで撮影できます。

16 Fnボタン

17 MOVIE(動画)ボタン

18 Mマルチ端子
- この商品にはマイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。

19 HDMIマイクロ端子

20 MENUボタン

21 コントロールホイール

22 ▶ (再生)ボタン

23 ?/🗑(カメラ内ガイド/削除)ボタン

24 バッテリー挿入口

25 バッテリー取りはずしつまみ

26 三脚用ネジ穴
- ネジの長さが5.5mm未満の三脚をお使いください。5.5mm以上の三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

27 アクセスランプ

28 メモリーカード挿入口

29 バッテリー/メモリーカードカバー

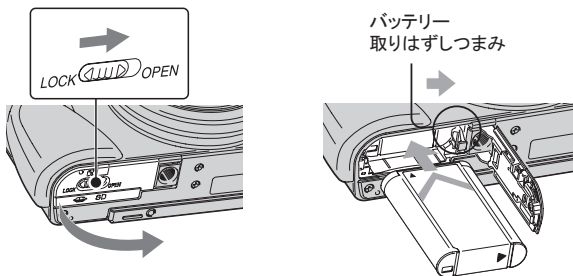
30 N (Nマーク)
- NFC機能搭載のスマートフォンと本機を無線接続するときにタッチします。
- NFC(Near Field Communication)は近距離無線通信技術の国際標準規格です。

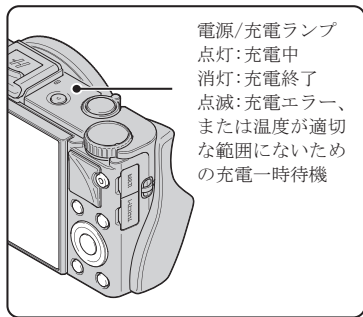
31 スピーカー

バッテリー充電と使用可能枚数・時間

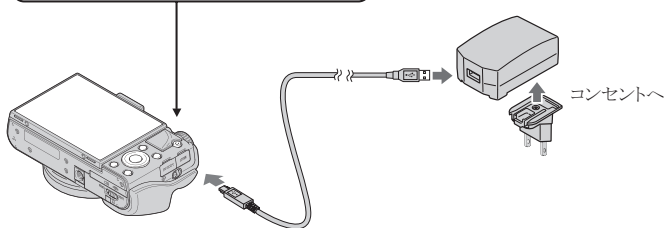
初めてお使いになるときは、バッテリーを充電してください。充電したバッテリーは、使わなくても少しずつ放電しています。撮影機会を逃さないためにも、ご使用前に充電してください。

1 カバーを開けてバッテリーを入れる。

バッテリーの向きを確認し、バッテリー取りはずしつまみを押しながら入れます。

2 カバーを閉じる。

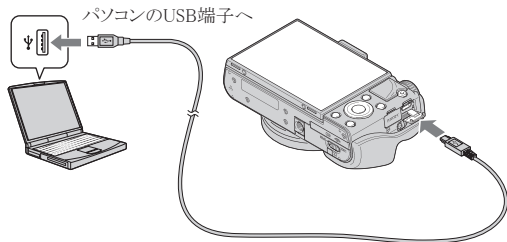
3 本機とACアダプター(付属)をマイクロUSBケーブル(付属)でつなぎ、ACアダプターをコンセントに差し込む。

充電時間の目安

約230分で充電できます。

・ 充電中は本機の電源を切った状態にしておいてください。
・ 残量があるバッテリーも充電できます。
・ バッテリー(付属)を使い切ってから、温度25°Cの環境下で充電したときの時間です。
使用状況や環境によっては、長くかかります。

ご注意

・ 電源/充電ランプが点滅し充電が完了しなかった場合は、一度バッテリーを取りはずし、再度装着してください。
・ バッテリーの充電は周囲の温度が10°C~30°Cの環境で行ってください。
・ ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
・ 充電が終わったら、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

パソコンに接続して充電する

マイクロUSBケーブルを使って、パソコンからの充電も可能です。電源を切った状態で繋いでください。

パソコンで静止画と動画を見る時にも同じく接続ください.

ご注意

- パソコンから充電するときは、以下の点にもご注意ください。
  - 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンの電池が消耗していきます。長時間充電しないでください。
  - 本機をUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本機が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取りはずしてから行ってください。
  - 自作のパソコンや改造したパソコンでの充電は保証できません。

バッテリーの使用時間と撮影/再生

	使用時間	枚数
静止画撮影	約175分	約350枚
実動画撮影	約45分	-
連続動画撮影	約80分	-
静止画再生	約250分	約5000枚

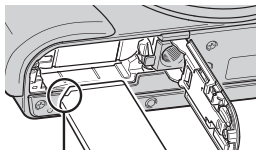
ご注意

- 撮影枚数は満充電されたバッテリーを使用した場合の目安です。撮影枚数は使用方法により減少する場合があります。
- 撮影枚数は、以下の条件で撮影した場合です。
  - 温度25°Cの環境
- 静止画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。(CIPA:カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association)
  - DISP:[全情報表示]
  - 30秒ごとに1回撮影
  - 1回ごとにズームをW側、T側に交互に最後まで動かす。
  - 2回に一度、フラッシュを発光する。
  - 10回に一度、電源を入/切する。
- 動画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
  - 記録設定:60i 17M(FH)
  - 実動画撮影:撮影、ズーム、撮影スタンバイ、電源入/切を繰り返した場合の目安。
  - 連続動画撮影:連続撮影の制限(29分)により撮影が終了したときは、再度 MOVIE(動画)ボタンを押して撮影を続ける。ズームなどその他の操作はしない。

メモリーカードを入れる

本機で使用できるメモリーカードは、"メモリースティック XC デュオ"、"メモリースティック PRO デュオ"とSDカードです。

1 カバーを開けてメモリーカードを入れる。

切り欠き部をイラストの向きにして、入れてください。

2 カバーを閉じる。

メモリーカードを取り出す

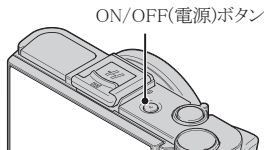
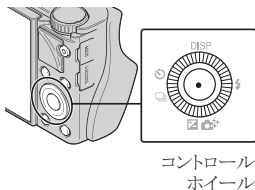
アクセスランプが消えていることを確認して、メモリーカードを押す。

ご注意

- アクセスランプ点灯中は、メモリーカードやバッテリーを取り出さないでください。
  データやメモリーカードが壊れることがあります。

日付と時刻を設定する

1 ON/OFF（電源）ボタンを押します。

・ 下記の設定をする際はコントロールホイールを回して選択し、中心の●を押します。（※電源を入れたとき、操作ができるまでに時間がかかることがあります。）

2 エリアの設定：はじめて電源を入れると、[Set Area/Date/Time]日時設定画面が表示されるので、[Enter]を選びます。画面の表示から場所を選択し、●を押します。（日本では [Tokyo/Seoul] を選択）。

コントロールホイール

3 日時の設定：[Daylight Svg.] サマータイムを選びます。（日本では [OFF] を選択）。日付と[Date Format] 表示形式を選び、● を押します。

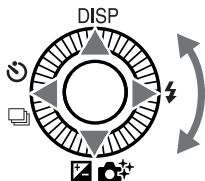
4 確認画面で[Enter] を選び、● を押します。

日付と時刻を合わせ直す

はじめて電源を入れたときのみ、自動で日時設定画面が開きます。日時を合わせ直すときは、MENUボタンを押して、❹1→[日時設定]を選び、日時設定画面を開いてください。

操作方法を確認する

コントロールホイールの使いかた

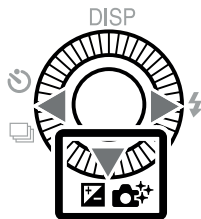
撮影時、コントロールホイールの▲/▼/◀/▶には下記の機能が割り当てられています。また、コントロールホイールを回して、撮影モードごとに必要な設定を即座に変更できます。

DISP	画面表示切換(DISP
⚡	フラッシュモード
☒/📷	露出補正 /マイフォトスタイル
⏱/❐	ドライブモード ・ 連続撮影/ブラケット ・セルフタイマー

・コントロールホイールを回したり上下左右を押したりすると、選択枠を動かすことができます。選んだ項目は中央の●を押すと決定されます。本書ではコントロールホイールの上下左右を押す動作を▲/▼/◀/▶で表現しています。
・再生時に、コントロールホイールの◀/▶を押す、またはホイールを回すことで前/次の画像を表示することができます。
・撮影時の◀/▶ボタンにはお好みの機能を割り当てることができます。

明るさを調整する（露出補正）

撮影モード「M」以外では、露出が自動的に設定されます(自動露出)。自動露出で設定された露出値を基準に、+側に補正すると、画像全体を明るく、−側に補正すると、画像全体を暗くできます(露出補正)。

1 コントロールホイールの ☒/📷✧（露出補正）→ ◀/▶ を押す、またはホイールを回して希望の補正値を選ぶ。

+(オーバー)側：画像が明るくなる。
−(アンダー)側：画像が暗くなる。

ご注意

- 撮影モードが以下の場合は、露出補正できません。
  - [おまかせオート]
  - [プレミアムおまかせオート]
  - [シーンセレクション]
  - [マニュアル露出]

ISO感度を選ぶ

1 モードダイヤルをP(プログラムオート)、A(絞り優先)、S(シャッタースピード優先)、M(マニュアル露出)または ●REC (動画)にする。

2 MENUボタン → 📷 3 → [ISO感度] → 希望の設定を選ぶ。

ISO AUTO(マルチショットノイズリダクション): 連続撮影により写真を重ね合わせ、ノイズの少ない画像を撮影する。

▶で設定画面を表示して、▲/▼ でISO AUTO、ISO 200~ISO 25600の中から希望の数値を選ぶ。

ISO AUTO(ISO AUTO): カメラが明るさに応じた感度を自動で設定する。

▶ で設定画面を表示して、ISO AUTO時の上限値、下限値を設定することもできる。

ISO 100 – ISO 12800: 数値が大きいほど高感度になる。

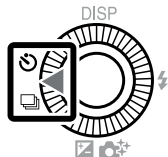
ご注意

- ISO 160未満では、記録できる被写体輝度の範囲(ダイナミックレンジ)が少し狭くなります。
- 動画撮影時はISO 160~ISO 3200の範囲で選べます。
- [マルチショットノイズリダクション]に設定しているときは、重ね合わせ処理をするため、記録処理に時間がかかります。また、フラッシュは発光しません。
- 撮影モードが[マニュアル露出]のときは、[ISO AUTO]が選べません。

連続して撮る（連写）

1枚撮影、連続撮影、ブラケット撮影など、撮影の目的に合わせて使用し てください。

---

1 コントロールホイールの ◇/◇（ドライブモード） → 希望のモードを選ぶ。

- さらに詳細な設定ができるモードを選んだ場合は、◀/▶ で希望の設定を選びます。
- コントロールホイールに他の機能が割り当てられている場合は、MENUボ タン → ◇ 2 →[ドライブモード]から選べます。

□（1枚撮影）: 通常の撮影方法。

◇（連続撮影）: シャッターボタンを押している間、連続して撮影する。

◇（速度優先連続撮影）: シャッターボタンを押している間、高速で連続撮影する。ピントと明るさは1枚目で固定される。

BRK C（連続ブラケット）: 露出を段階的にずらして、合計3枚の画像を連続して記録する。露出の段数は設定できる。

BRK WB（ホワイトバランスブラケット）: 選択されているホワイトバランス、色温度・カラーフィルターの値を基準に、段階的にずらして、合計3枚の画像を連続して記録する。[Lo]または[Hi]からずらす値の幅を選ぶ。

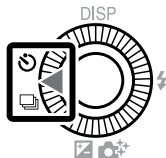
ご注意

- 以下のときは、連続撮影、ブラケット撮影ができません。
  - 撮影モードが[スイングパノラマ]
  - [シーンセレクション]の[スポーツ]以外 ＊
  - [ピクチャーエフェクト]が[ソフトフォーカス]、[絵画調HDR]、[リッチトーンモノクロ]、[ミニチュア]、[水彩画調]、[イラスト調]
  - [DRO/オートHDR]が[オートHDR]
  - [ISO感度]が[マルチショットノイズリダクション]

＊[シーンセレクション]が[スポーツ]の場合もブラケット撮影はできません。

セルフタイマーで撮る

1 コントロールホイールの ◌/◌（ドライブモード） → 希望のモードを選ぶ。

- さらに詳細な設定ができるモードを選んだ場合は、◀/▶ で希望の設定を選びます。
- コントロールホイールに他の機能が割り当てられている場合は、MENUボタン → ◌ 2 →[ドライブモード]から選べます。

◌(セルフタイマー): 10秒セルフタイマーは撮影者も一緒に写真に入るとき に、2秒セルフタイマーは、撮影の際のカメラブレを和らげるのに使う。シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッ ピッ」と電子音が鳴り、撮影が開始される。解除するにはもう一度 ◌/◌ を押す。

◌(自分撮り): カメラが人物の顔を検出して自動撮影する。自分にカメラを 向けて撮影するときに使う。設定した人数の顔を検出すると「ピピッ」と 音が鳴り、2秒後に撮影される。

◌C(セルフタイマー(連続)): シャッターボタンを押して10秒後に連写撮影す る。3枚または5枚から撮影枚数を選ぶ。

ご注意

- 以下のときは、セルフタイマーを使えません。
  - 撮影モードが[スイングパノラマ]
  - [シーンセレクション]の[人物ブレ軽減]、[手持ち夜景]
  - [ピクチャーエフェクト]が[ソフトフォーカス]、[絵画調HDR]、[リッチトーンモノクロ]、[ミニチュア]、[水彩画調]、[イラスト調]
  - [DRO/オートHDR]が[オートHDR]
  - [ISO感度]が[マルチショットノイズリダクション]

かんたんな操作で好みの設定にして撮る（マイフォトスタイル）

マイフォトスタイルは、通常の画面とは異なるデザインで直感的にカメラを操作できるモードです。かんたんな操作で設定を変更して撮影できます。

1 モードダイヤルを（おまかせオート）または（プレミアムおまかせオート）にする。

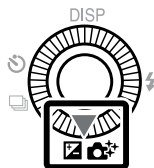
2 コントロールホイールの / （マイフォトスタイル）→ 変更する項目を選ぶ。

（背景ぼかし）:背景のぼかし具合を調整する。

（明るさ）:明るさを調整する。

（色あい）:色合いを調整する。

（鮮やかさ）:鮮やかさを調整する。

（ピクチャーエフェクト）:好みの効果を選んで、独自の風合いで撮影する。

3 コントロールホイールの▲/▼を押す、またはホイールを回して希望の設定にする。

・この手順を繰り返して色々な設定を組み合わせることができます。
・マイフォトスタイルを終了するには、MENUボタンを押します。

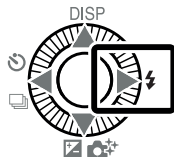
ご注意

- マイフォトスタイルで動画を撮影する場合、撮影中に設定できるのは背景ぼかしのみです。
- マイフォトスタイルを終了したり、電源を切ると、各設定は初期設定に戻ります。
- プレミアムおまかせオート時に、マイフォトスタイルを設定すると、重ね合わせ処理はされません。

フラッシュモードを選ぶ

1 コントロールホイールの ϟ（フラッシュモード）→好みのモードを選ぶ。

コントロールホイールに他の機能が割り当てられている場合は、MENUボタン→ 📷 2 →［フラッシュモード］から選べます。

（発光禁止）: 発光しない。
（自動発光）: 暗い場所、または逆光のとき、自動で発光する。
（強制発光）: 必ず発光する。
（スローシンクロ）: 必ず発光する。暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影する。
（後幕シンクロ）: 露光が終わる直前のタイミングで必ず発光する。走っている自動車など動いている被写体を撮ると、動きの軌跡が自然な感じに撮れる。

モニター表示を変える（DISP）

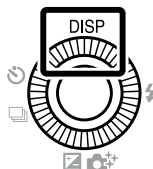
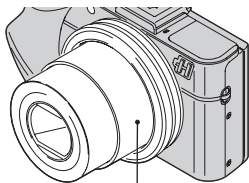
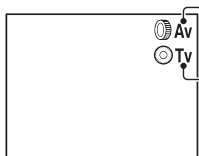
1 コントロールホイールのDISP →好みのモードを選ぶ。

選択できるモードはMENU→ ⚙ 1 →［DISPボタン］で設定できます。

撮影時

グラフィック表示：基本的な撮影情報を表示する。シャッタースピードと絞りをグラフィカルに表示する。
全情報表示:撮影情報を表示する。
情報表示なし:撮影情報を表示しない。
水準器:カメラの傾きを示す指標を表示する。水平状態のときは緑色になる。
ヒストグラム:画像の明暗をグラフ（ヒストグラム）で表示する。
（お買い上げ時の設定では選べません。［DISPボタン］で［ヒストグラム］を選択してください。）

再生時

情報表示あり:撮影時の情報を表示する。
ヒストグラム:撮影時の情報とヒストグラムを表示する。
情報表示なし:撮影時の情報を表示しない。

コントロールリングの使いかた

コントロールリングを回したときの機能

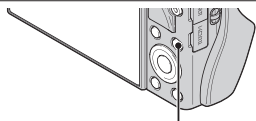
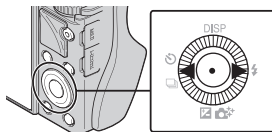
コントロールホイールを回したときの機能

Av:絞り値
Tv:シャッタースピード

コントロールリングを回して、撮影モードごとに必要な設定を即時に変更できます。よく使う機能を割り当てることもできます

MENUボタンで選ぶ

撮影、再生、操作方法などカメラ全体に関する設定の変更や、機能の実行を行えます。

1 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。

2 コントロールホイールの ◀/▶ でメニューのページを選ぶ。

3 ▲/▼を押す、またはホイールを回して設定したい項目を選び、中央の ● を押す。

4 画面の指示に従って項目を選び、中央の ● を押して決定する。

静止画撮影メニュー

1 2 3 4 5

画像サイズ	静止画のサイズを選択する。 L:20M/M:10M/S:5.0M(3:2のとき) L:17M/M:7.5M/S:4.2M(16:9のとき) L:18M/M:10M/S:5.0M/VGA(4:3のとき) L:13M/M:6.5M/S:3.7M(1:1のとき)
横縦比	静止画の横縦比を選択する。 (3:2/16:9/4:3/1:1)
画質	静止画の画質を設定する。 (RAW/RAW+JPEG/ファイン/スタンダード)
パノラマ：画像サイズ	パノラマ画像のサイズを選択する。 (標準/ワイド)
パノラマ：撮影方向	パノラマの撮影方向を設定する。 (右/左/上/下)
スマートフォン操作	スマートフォンでカメラを遠隔操作して、静止画・動画を撮影したり、撮影した静止画をスマートフォンに保存する。

ドライブモード	連続撮影などの撮影方法を設定する。(1枚撮影/連続撮影/速度優先連続撮影/セルフタイマー/自分撮り/セルフタイマー(連続)/連続ブラケット/ホワイトバランスブラケット)
フラッシュモード	フラッシュの発光方式を設定する。(発光禁止/自動発光/強制発光/スローシンクロ/後幕シンクロ)
フォーカスモード	被写体の動きに応じたピント合わせの方法を選ぶ。(シングルAF/コンティニュアスAF/DMF/マニュアルフォーカス)
オートフォーカスエリア	ピント合わせの位置を選ぶ。(マルチ/中央重点/フレキシブルスポット)
美肌効果	顔検出時、被写体の美肌効果を設定する。(切/入)
顔検出/スマイルシャッター	人物の顔を自動でとらえ、ピントや露出を最適にする。笑顔を検出すると自動で撮影する。(切/入(登録顔優先)/入/スマイルシャッター)
オートフレーミング	人物の顔やマクロ撮影する被写体、または[追尾フォーカス]でとらえた被写体を検出して、撮影するときにシーンを分析して、印象の異なる構図で画像を保存する。(切/オート)

ISO感度	ISO感度を設定する。 (マルチショットノイズリダクション/ISO AUTO/ISO 100 ~ ISO 12800)
測光モード	明るさを測る方法を選ぶ。 (マルチ/中央重点/スポット)
調光補正	フラッシュの発光量を調整する。 (–2.0EV ~+2.0EV)
ホワイトバランス	撮影場所の光の状況に合わせて画像の色合いを調整する。 (オートホワイトバランス/太陽光/日陰/曇天/電球/蛍光灯:温白色/蛍光灯:白色/蛍光灯:昼白色/ 蛍光灯:昼光色/フラッシュ/色温度・カラーフィルター/カスタム/カスタムセット)
美肌効果	顔検出時、被写体の美肌効果を設定する。 (切/入)
DRO/オートHDR	明るさ、コントラストを自動補正する。 (切/Dレンジオプティマイザー/オートHDR)
クリエイティブスタイル	お好みの画像の仕上がりを選ぶ。 コントラスト、彩度、シャープネスの調整もできる。(スタンダード/ビビッド/ポートレート/風景/夕景/白黒)
ピクチャーエフェクト	好みの効果を使って、より印象的でアーティスティックな表現の画像を撮影できる。 (切/トイカメラ/ポップカラー/ポスタリゼーション/レトロフォト/ソフトハイキー/パートカラー/ハイコントラストモノクロ/ソフトフォーカス/絵画調HDR/リッチトーンモノクロ/ミニチュア/水彩画調/イラスト調)

撮影メニュー 1 2 3 **4** 5

全画素超解像ズーム	デジタルズームよりも高画質でズームする。(入/切)
デジタルズーム	全画素超解像ズーム以上の倍率でズームできる。(入/切)
長秒時ノイズリダクション	シャッタースピードを1/3秒以上にした場合のノイズ軽減処理を設定する。(入/切)
高感度ノイズリダクション	高感度撮影した場合のノイズ軽減処理を設定する。(強/標準/弱)
AF補助光	暗所でピントを合わせるための補助光を発光する。(オート/切)
手ブレ補正	手ブレ補正の設定をする。(入/切)
色空間	再現できる色の範囲を変更する。(sRGB/AdobeRGB)

撮影メニュー 1 2 3 4 **5**

撮影アドバイス一覧	撮影アドバイスの一覧を表示する。
日付書き込み	撮影した日の日付を画像に記録するかどうかを設定する。(入/切)
シーンセレクション	撮影状況に合わせて、あらかじめ用意された設定で撮影する。(ポートレート/人物ブレ軽減/スポーツ/ペット/料理/マクロ/風景/夕景/夜景/手持ち夜景/夜景ポートレート/打ち上げ花火/高感度)

登録呼び出し	モードダイヤルが(登録呼び出し)のとき、呼び出したい設定を選択する。(1/2/3)
登録	好みのモード、カメラの設定を登録する。

動画撮影メニュー

記録方式	動画を記録するときの記録方式を設定する。(AVCHD/MP4)
記録設定	動画のサイズを選択する。 (60i 24M(FX)/60i 17M(FH)/60p 28M(PS)/24p 24M(FX)/24p 17M(FH)/ 1440×1080 12M/VGA 3M)
画像サイズ(デュアル記録)	動画記録中に撮影する静止画の画像サイズを設定する。 (L:17M/S:4.2M(16:9のとき) L:13M/S:3.2M(4:3のとき)
手ブレ補正	手ブレ補正の設定をする。 (アクティブ/スタンダード/切)
音声記録	動画撮影時、音声記録を行うかどうかを設定する。(入/切)
風音低減	動画撮影時、風音を低減する。(入/切)
動画	撮りたい被写体や効果に合わせて、露出モードを選んで撮影する。 (プログラムオート/絞り優先/シャッタースピード優先/マニュアル露出)

カスタムメニュー

⚙ **1** 2 3

FINDER/LCD 切換設定	電子ビューファインダー(別売)使用時、電子ビューファインダーとモニターの切り換え方法を設定する。(オート/マニュアル)
赤目軽減発光	フラッシュ撮影時、目が赤くなるのを軽減する。(入/切)
グリッドライン	構図を合わせるための線を表示する。(3分割/方眼/対角+方眼/切)
オートレビュー	撮影したあと、撮った画像を表示するオートレビューの設定をする。(10秒/5秒/2秒/切)
DISPボタン	コントロールホイールのDISPを押してモニターに表示する情報の種別を設定する。(グラフィック表示/全情報表示/情報表示なし/水準器/ヒストグラム)
ピーキングレベル	マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を指定された色で強調表示する設定をする。(高/中/低/切)
ピーキング色	輪郭を強調表示するピーキング表示の色を設定する。(レッド/イエロー/ホワイト)

⚙ 1 **2** 3

コントロールリング	コントロールリングにお好みの機能を割り当てる。(スタンダード/露出補正/ISO感度/ホワイトバランス/クリエイティブスタイル/ピクチャーエフェクト/ズーム/ シャッタースピード/絞り/未設定)

リングのズーム機能	コントロールリングでのズーム機能を設定する。[ステップ]を選ぶと、一定の画角で段階的に切り換わる。(スタンダード/ステップ)
コントロールリング表示	コントロールリング操作時にアニメーション表示するかどうかを設定する。(入/切)
ファンクションボタン	Fn(ファンクション)ボタンで表示する機能をカスタマイズする。(露出補正/フォーカスモード/オートフォーカスエリア/ISO感度/ドライブモード/測光モード/フラッシュモード/調光補正/ホワイトバランス/DRO/オートHDR /クリエイティブスタイル/ピクチャーエフェクト/美肌効果/画質/画像サイズ/顔検出/スマイルシャッター/横縦比/未設定)
中央ボタンの機能	中央ボタンにお好みの機能を割り当てる。(スタンダード/再押しAEL/再押しAF/MFコントロール/ピント拡大)
左ボタンの機能	左ボタンにお好みの機能を割り当てる。(露出補正/ドライブ モード/フラッシュモード/フォーカスモード/オートフォーカスエリア/顔検出/スマイルシャッター/オートフレーミング/美肌効果/ISO感度/測光モード/調光補正/ホワイトバランス/DRO/オートHDR/クリエイティブスタイル/ピクチャーエフェクト/画像サイズ/横縦比/画質/登録/再押しAEL/再押しAF/MFコントロール/ピント拡大/スマートフォン操作)

右ボタンの機能	右ボタンにお好みの機能を割り当てる。(露出補正/ドライブモード/フラッシュモード/フォーカスモード/オートフォーカスエリア/顔検出/スマイルシャッター/オートフレーミング/美肌効果/ISO感度/測光モード/調光補正/ホワイトバランス/DRO/オートHDR/クリエイティブスタイル/ピクチャーエフェクト/画像サイズ/横縦比/画質/登録/再押しAEL/再押しAF/MFコントロール/ピント拡大/スマートフォン操作)

1 2 3

MOVIE(動画)ボタン	MOVIEボタンが有効になるモードを設定する。(常に有効/動画モードのみ有効)
MFアシスト	手動ピント合わせ時に画像を拡大表示する。(入/切)
ピント拡大時間	拡大表示する時間を設定する。(2秒/5秒/無制限)
顔優先追尾	被写体追尾時に人の顔を優先して追尾するかどうかを設定する。(入/切)
個人顔登録	優先してピントを合わせる人物の登録・編集を行う。(新規登録/優先順序変更/削除/全て削除)

再生メニュー

▶ 1 2

スマートフォン転送	スマートフォンに画像を表示、転送する。(カメラから選ぶ/スマートフォンから選ぶ)
パソコン保存	本機の画像をネットワークにつながれたパソコンに転送し、バックアップをとる。
テレビ鑑賞	ネットワークにつながれたテレビで画像を見る。
静止画/動画切換	静止画と動画の表示を切り換える。(フォルダービュー(静止画)/フォルダービュー(MP4)/AVCHDビュー)
削除	画像を削除する。(画像選択/フォルダー内全て/AVCHDビュー動画全て)
スライドショー	画像を連続再生する。(リピート/間隔設定/画像種別)

▶ 1 2

一覧表示	画像を一覧表示する。(4枚/9枚)
プロテクト	画像を誤って消さないように保護(プロテクト)する。(画像選択/静止画全て解除/動画(MP4)全て解除/AVCHDビュー動画全て解除)
プリント指定	メモリーカードの画像にプリント予約マークを付ける。(DPOF指定/日付プリント)

ピクチャーエフェクト	画像に効果をつけ、別ファイルで保存する。(水彩画調/イラスト調)
音量設定	動画再生時の音量を設定する。
縦記録画像の再生	縦記録画像の再生方法を設定する。(縦向き/横向き)

1

フォーマット	メモリーカードをフォーマット(初期化)する。
ファイル番号	ファイル番号の付けかたを設定する。(連番/リセット)
記録フォルダー選択	画像を記録するフォルダーを設定する。
フォルダー新規作成	静止画と動画(MP4)を記録する新しいフォルダーを作成する。
管理ファイル修復	画像の管理ファイル修復を行い、記録・再生できるようにする。
メモリーカード残量表示	現在撮影可能な動画の時間と静止画の枚数を表示する。

1

日時設定	時計、日付の設定をする。
エリア設定	本機を使用する場所に適した時刻に設定する。

1 2 3 4

メニュー呼び出し先	メニューの呼び出し先を変更する。リストの先頭、または最後に選んだ項目を呼び出すことができる。(先頭/前回位置)
モードダイヤルガイド	モードダイヤルガイド(各撮影モードの説明)の表示を設定する。(入/切)
モニター明るさ	モニターの明るさを設定する。(オート/マニュアル/屋外晴天)
ファインダー明るさ	電子ビューファインダー(別売)使用時、電子ビューファインダーの明るさを設定する。(オート/マニュアル)
パワーセーブ	パワーセーブモードにする時間を設定する。(強/標準)
パワーセーブ開始時間	自動的に電源が切れる時間を設定する。(30分/5分/2分/1分)

1 2 3 4

アップロード設定*	市販のEye-Fiカードを使うときのアップロード通信設定をする。(入/切)
HDMI解像度	HDMI端子からテレビに出力する解像度を選ぶ。(オート/1080p/1080i)
HDMI機器制御	ブラビアリンク対応のテレビと接続した場合、テレビのリモコンで操作するかどうか設定する。(入/切)
USB接続	接続するパソコンやUSB機器に合わせて設定する。(オート/マスストレージ/MTP)

*Eye-Fiカード(別売)挿入時のみに表示されます。

USB LUN設定	USB接続の機能を制限して互換性を高める。通常は[マルチ]のまま使い、どうしても接続できない場合のみ、[シングル]に設定する。(マルチ/シングル)
USB給電	USB接続して給電するかどうか設定する。(入/切)
電子音	本機の操作時に鳴る音を設定する。(入/切)

1 2 3 4

アクセスポイント簡単登録	WPSボタンを押すことで、簡単にアクセスポイントを登録できる。
アクセスポイント手動登録	手動でアクセスポイントを登録できる。
機器名称変更	Wi-Fi Directなどの機器名称を変更する。
MACアドレス表示	本機のMACアドレスを表示する。
SSID・PWリセット	スマートフォン接続の接続情報をリセットする。

1 2 3 4

飛行機モード	飛行機などに搭乗するとき、Wi-Fi機能を使用する設定を一時的にすべて無効にする。(入/切)
バージョン表示	本機のソフトウェアのバージョンを表示する。
認証マーク表示	本機が対応している認証情報を表示する(表示されるのは認証情報の一部のみになります)。

落下検出	落下検出の機能を設定する。(入/切)
デモモード	動画のデモンストレーションの入/切を設定する。(入/切)
設定リセット	設定を初期値に戻す。すべての設定を初期値に戻す場合は、[設定値リセット]を選ぶ。(設定値リセット/撮影モードリセット/カスタム設定リセット/ネットワーク設定リセット)

Fn（ファンクション）ボタンで選ぶ

Fn（ファンクション）ボタンにはよく使う機能を7つまで登録しておくことができ、撮影時に各機能の設定を変更できます。

1 撮影画面でFn（ファンクション）ボタンを押す。

2 Fn（ファンクション）ボタンを繰り返し押す、またはコントロールホイールの◀/▶で設定する機能を選ぶ。

3 コントロールホイールまたはコントロールリングを回して希望の設定を選び、中央の●を押す。

さらに微調整可能な場合は、コントロールホイールの▼を押して設定画面を表示できます。

お買い上げ時に登録されている機能

- ［露出補正］
- ［ISO感度］
- ［ホワイトバランス］
- ［DRO/オートHDR］
- ［ピクチャーエフェクト］

モードダイヤルで選ぶ

静止画の撮影モードを変える。

撮りたい被写体や、操作したい機能に合わせて、モードダイヤルで撮影モードを設定します。

1 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。

カメラまかせで自動撮影する

露出(シャッタースピードと絞り)など、多くの機能が自動で設定されます。

撮影モード	こんなときに使う
i(おまかせオート)	シーンを認識し、自動設定で撮影する。
i+(プレミアムおまかせオート)	おまかせオート撮影より高画質な画像を撮影できる。カメラまかせでシーンとコンディションを認識し、必要に応じて自動で連写して重ね合わせ処理を行う。 ・ 重ね合わせ処理には、若干の時間がかかります。記録される画像は1枚です。
SCN(シーンセレクション)	撮影条件に合わせて、あらかじめ用意された設定で撮影する。

好みの設定で撮影する

Fn(ファンクション)やMENUで多彩な機能を設定できます。

P(プログラムオート)	露出(シャッタースピードと絞り)は自動設定される。Fn やMENUで多彩な機能を設定できる。
A(絞り優先)	背景をぼかしたいときなど、絞り値を設定して撮影する。
S(シャッタースピード優先)	動きの速いものを撮るときなど、シャッタースピードを設定して撮影する。
M(マニュアル露出)	シャッタースピードと絞りを手動で設定して、好みの露出で撮影できる。
MR(登録呼び出し)	あらかじめ登録しておいた、よく使うモードやカメラの設定を呼び出して撮影できる。

その他の撮影モードで撮影する

●REC(動画)	動画撮影に関するモードや設定の変更ができる。
(スイングパノラマ)	画像を合成してパノラマ画像を撮影できる。

シーンセレクション

場面に合った撮影モードを使う。

---

1 モードダイヤルをSCN(シーンセレクション)にして希望のシーンを選ぶ。

・ モードダイヤルガイド]が[切]の場合は、シーンを選択する画面が表示さ れません。
・ 他のシーンにしたいときは、コントロールリングで選び直せます。コントロールリングに他の機能が割り当てられている場合は、MENUボタン → 5 → [シーンセレクション]で選び直せます。

(ポートレート):背景をぼかして、人物を際立たせる。肌をやわらかに再現する。

(人物ブレ軽減): 室内で人物撮影をする場合、フラッシュを使わずにブレを軽減する。

(スポーツ):高速なシャッタースピードで動く物が止まったように撮れる。シャッターボタンを押し続けると連続撮影する。

(ペット):ペットを最適な設定で撮影する。

(料理):料理を明るく美味しそうに撮影する。

(マクロ):花などに近づいて撮影する。

(風景): 風景を手前から奥までくっきりと鮮やかな色で撮る。

(夕景): 夕焼けや朝焼けなどの赤を美しく撮る。

(夜景): 暗い雰囲気を損なわずに、夜景を撮る。

(手持ち夜景):三脚を使わずにノイズが少ない夜景を撮る。連写を行い、画像を合成して被写体ブレや手ブレ、ノイズを軽減して記録する。

(夜景ポートレート): 夜景を背景に手前の人物を撮る。

(打ち上げ花火):打ち上げ花火をきれいに撮影する。

ISO **(高感度)**:暗いところでも、フラッシュを使わずにブレを軽減する。

ピクチャーエフェクト

好みの効果を使って印象的に撮る。

1 モードダイヤルをP(プログラムオート)、(絞り優先)、(シャッタースピード優先)または(マニュアル露出)にする。

2 MENUボタン → 3 →[ピクチャーエフェクト] →希望のモードを選ぶ。

さらに詳細な設定ができるモードを選んだ場合は、◀/▶で希望の設定を選びます。

(切):効果を使用しない。

(トイカメラ):周辺が暗く、シャープ感を抑えた柔らかな仕上がりになる。◀/▶で色合いを設定できる。

(ポップカラー):色合いを強調してポップで生き生きとした仕上がりになる。

(ポスタリゼーション):原色のみ、または白黒のみで再現され るメリハリのきいた抽象的な仕上がりになる。◀/▶で[ポスタリゼーション:白黒]か[ポスタリゼーション:カラー]かを選択できる。

レトロフォト):古びた写真のようにセピア色でコントラストが落ちた仕上がりになる。

ソフトハイキー):明るく、透明感や軽さ、優しさ、柔らかさを持ったような仕上がりになる。

(パートカラー):1色のみをカラーで残し、他の部分はモノクロに仕上がる。◀/▶で残す色を設定できる。

(ハイコントラストモノクロ):明暗を強調することで緊張感のあるモノクロに仕上がる。

(ソフトフォーカス):柔らかな光につつまれたような雰囲気の仕上がりになる。◀/▶で効果の強弱を設定できる。

(Pntg Mid)(絵画調HDR):絵画のように色彩やディテールが強調された仕上がりになる。3回シャッターが切れる。◀/▶で効果の強弱を設定できる。

(Rich BW)(リッチトーンモノクロ):階調が豊かでディテールも再現されたモノクロに仕上がる。3回シャッターが切れる。

(Mini AUTO)(ミニチュア):ミニチュア模型を撮影したようにボケが大きく、鮮やかな仕上がりになる。◀/▶でボケる位置を設定できる。

(WtrC)(水彩画調):にじみやぼかしを加えて水彩画のような効果をつける。

(Ilus Mid)(イラスト調):輪郭を強調するなどしてイラストのような効果をつける。◀/▶で効果の強弱を設定できる。

撮影のテクニック

- [トイカメラ]、[ポップカラー]、[ポスタリゼーション]、[レトロフォト]、[ソフトハイキー]、[パートカラー]、[ハイコントラストモノクロ]は動画撮影でも使えます。（デュアル記録はできません。）

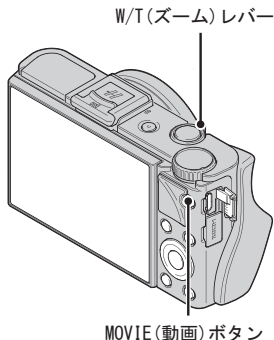
ご注意

- ピクチャーエフェクトを設定すると[DRO/オートHDR]や[クリエイティブスタイル]等、使用できなくなる機能があります。また、ピクチャーエフェクトのモードによって使用できなくなる機能があります。
- [画質]が[RAW]または[RAW+JPEG]のとき、[ピクチャーエフェクト]を設定できません。

MOVIE(動画)ボタンで選ぶ

動画を撮る

1 MOVIE(動画)ボタン を押して、撮影を開始する。

・W/T(ズーム)レバーをT側へ動かすとズームし、W側へ動かすと戻ります。
・シャッタースピードや絞りを希望の値に設定したいときは、モードダイヤルを ●REC (動画)にしてください。

2 もう一度MOVIEボタンを押して、終了する。

ご注意

・ 動画記録中にズームなどの操作をすると、カメラの動作音や操作音が記録されます。また、動画撮影終了時、MOVIEボタンの操作音が記録されることがあります。
・ 連続撮影可能時間は出荷時設定を使い約25° Cで撮影した場合、1回につき約29分です。撮影が終わってしまったら、もう一度MOVIEボタンを押すと撮影を再開できます。撮影環境温度によっては、機器保護のため停止する場合があります。

MOVIEボタンについて

モードダイヤルがどこに設定されていても、MOVIEボタンを押せば動画撮影が可能です。

動画の記録方式/画質を選ぶ

1 MENUボタン → 1 → [記録方式] → 希望の設定を選ぶ。

[AVCHD]: 滑らかな映像をハイビジョンテレビで見るのに適した記録方式になる。「Play Memories Home」を使って動画ディスクを作成できる。

[MP4]: WEBアップロードやメールに適した記録方式になる。「PlayMemories Home」を使っても動画ディスクを作成できない。

2 MENUボタン → 1 → [記録設定] → 希望の設定を選ぶ。

・各記録設定時の最大記録時間の目安は。

[記録方式]が[AVCHD]のとき

記録設定	平均ビットレート	説明
60i 24M(FX)	24 Mbps	1920×1080(60i)の高画質で撮影する。
60i 17M(FH)	17 Mbps	1920×1080(60i)の標準画質で撮影する。
60p 28M(PS)	28 Mbps	1920×1080(60p)の最高画質で撮影する。 ・撮影した動画を扱うには対応機器が必要です。
24p 24M(FX)	24 Mbps	1920×1080(24p)の高画質で撮影する。映画のような雰囲気で記録できる。
24p 17M(FH)	17 Mbps	1920×1080(24p)の標準画質で撮影する。映画のような雰囲気で記録できる。

[記録方式]が[MP4]のとき

記録設定	平均ビットレート	説明
1440×1080 12M	12 Mbps	1440×1080で撮影する。
VGA 3M	3 Mbps	VGAサイズで撮影する。

ご注意

- [記録設定]を[60p 28M(PS)]または[60i 24M(FX)]、[24p 24M(FX)]にして撮影した動画からAVCHD記録ディスクを作成すると、画質が変換されるため、ディスク作成に時間がかかります。画質を変換せずに保存したい場合は、ブルーレイディスクをお使いください。

絞りとシャッタースピードを設定して動画を撮る

絞りやシャッタースピードを設定して、背景のぼかし具合や流動感を思い通りにコントロールした動画を撮影できます。

1 モードダイヤルを ●REC (動画)にして希望のモードを選ぶ。

・[モードダイヤルガイド]が[切]の場合は、モードを選択する画面が表示されません。
・他のモードにしたいときは、MENUボタン → 1 → [動画]で選び直せます。

P (プログラムオート): 露出(シャッタースピードと絞り)は本機が自動設定するが、その他の設定は自分で調整でき、設定した値は保持される。

A (絞り優先): 絞りを手動設定する。

S (シャッタースピード優先): シャッタースピードを手動設定する。

M (マニュアル露出): 露出(シャッタースピードと絞り)を手動設定する。

2 MOVIE(動画)ボタンを押して撮影する。

動画を撮りながら静止画を撮る（デュアル記録）

動画撮影中にシャッターボタンを押すと、動画撮影を中断することなく静止画も撮影できます。

ご注意

- [記録設定]が[60p 28M(PS)]の場合は、デュアル記録はできません。
- シャッターボタンの操作音が記録されることがあります。
- 静止画の画像サイズは MENU → 1 → [画像サイズ(デュアル記録)]で選べます。
- デュアル記録時のフラッシュ撮影はできません。

再生ボタン

静止画を見る

1 ▶（再生）ボタンを押す。

2 コントロールホイールの▶次）/◀（前）を押す、またはホイールを回して画像を選ぶ。

- 拡大するには、W/T（ズーム）レバーをT側に動かしてください。最初は大きく拡大されますのでW側に動かして倍率を調整してください。
- 回転するにはFnボタンを押してください。

撮影に戻るには

▶（再生）ボタンを押す。
- シャッターボタンを半押ししても撮影に戻ります。

動画を見る

1 ▶(再生)ボタンを押して再生モードにする。

2 MENUボタン →▶ 1→[静止画/動画切換] →[フォルダービュー(MP4)]または[AVCHDビュー]を選ぶ。

▶MP4(フォルダービュー(MP4)): MP4形式の動画を表示する。
▶AVCHD(AVCHDビュー): AVCHD形式の動画を表示する。静止画再生に戻すには、[フォルダービュー(静止画)]を選びます。

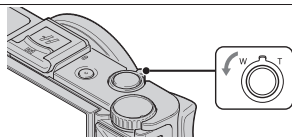
3 コントロールホイールで再生したい動画を選び、中央の●を押す。

動画の再生が始まる。
・もう一度中央の●を押すと、一時停止します。再生中に◀/▶を押すと早戻し、早送りができます。
・再生した動画が終わると自動的に次の動画が始まります。

コントロールホイール操作	動画再生中にできること
●	一時停止/再生
▶	早送り
◀	早戻し
一時停止中にコントロールホイールを右に回す	正方向スロー再生
一時停止中にコントロールホイールを左に回す ・コマ送りになる。	逆方向スロー再生
▼–▲/▼	音量
▲	情報表示

素早く探す（一覧表示）

1 **▶（再生）ボタンを押して再生モードにし、W/T（ズーム）レバーをW側に動かす。**

W/T（ズーム）レバーをもう一度W側に動かすと、更に細かい一覧表示画面になります。

2 **コントロールホイールの▲/▼/◀/▶ を押す、またはホイールを回して画像を選ぶ。**

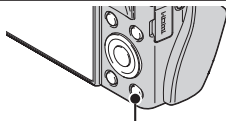
コントロールホイール中央の●を押すと、1枚再生に戻ります。

希望のフォルダーを表示するには

コントロールホイールで左側のバーを選び、▲/▼で希望のフォルダーを選びます。また、左側のバーを選んでコントロールホイール中央の●を押すと、静止画・動画の再生を切り換えることができます。

削除ボタン

削除する

1 ▶(再生)ボタンを押して削除したい画像を選び、?/🗑(削除)ボタンを押す。

2 コントロールホイールの▲で[削除]を選び、中央の●を押す。

MENUボタン → ▶1 → [削除]で、複数の画像を一度に削除することもできます。

すべての画像を削除する(フォーマット)

メモリーカードのデータをすべて削除します。フォーマットするとプロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

MENUボタン → 1 → [フォーマット] → [実行]を選ぶ。

カメラの設定を変える

電子音の設定を変える

本機を操作したときの電子音の有り無しを設定します。

---

1 MENUボタン → 🔧 2 →[電子音] →希望の設定を選ぶ。

入: シャッターボタンを半押ししてピントがあったとき、シャッターボタンを押して撮影したときなどに、操作音/シャッター音が鳴る。

切: 操作音/シャッター音は鳴らない。

静止画に撮影日付を入れる

撮影した日付を静止画に挿入するように設定できます。

---

1 MENUボタン → 📷 5 →[日付書き込み] →希望の設定を選ぶ。

入: 日付を挿入する。

切: 日付を挿入しない。

ご注意

- 静止画に入れた日付表示は消せません。
- 印刷時に日付を入れる設定にすると、二重で日付が印刷されます。
- [画質]が[RAW]または[RAW+JPEG]のときは日付は挿入されません。

パソコンで見る

「PlayMemories Home」を使う

撮影した静止画、動画を、パソコンに取り込んで閲覧や活用ができます。AVCHD動画をパソコンに取り込む場合は「PlayMemories Home」が必要です。

本機に内蔵されているソフトウェア「PlayMemories Home」を使うと、次のことなどができます。
- 撮影日ごとにカレンダー上に整理して閲覧
- 画像の切り抜き(トリミング)、サイズ変更(リサイズ)
- 赤目補正などの静止画補正、撮影日時の変更
- プリント、メール送信
- 画像に日付を挿入

拡張機能をインストールすると、AVCHD動画をディスクに保存するなど、さらに多くの機能を使えるようになります。
「PlayMemories Home」をインストールしなくても本機での撮影・再生などの操作は可能ですが、AVCHD動画をパソコンに取り込む場合 は「PlayMemories Home」が必要です。

---

1 パソコンの推奨環境を確認する。

OS(工場出荷時にインストールされていること):
Microsoft Windows XP* SP3/Windows Vista SP2/Windows 7 SP1(「PlayMemories Home」はWindows専用です)
CPU:
Intel Pentium III 800 MHz以上
HD動画再生・編集時は、Intel Core Duo 1.66 GHz以上/Intel Core 2 Duo 1.66 GHz以上、Intel Core 2 Duo 2.26 GHz以上(AVC HD(FX/FH)、Intel Core 2 Duo 2.40 GHz以上(AVC HD(PS)

* 64bit版は除きます。「拡張機能」をインストールしてディスク作成機能をご使用の場合、Windows Image Mastering API(IMAPI)Ver.2.0 以上が必要です。

2 本機とパソコンの電源を入れ、マイクロUSB ケーブル(付属)で接続する。

3 “PlayMemories Home”(Windows用)のインストール

付属ソフトウェア”PlayMemories Home”では、写真や動画をコンピュータに取り込んで管理できます。
“PlayMemories Home”をインストールしなくても、本カメラで写真を撮影し、再生することは可能ですが、AVCHD動画をコンピュータに取り込むには”PlayMemories Home”が必要です。(IMAPI)Ver.2.0 以上が必要です。

1 Stellar II のCD-ROMを挿入し、「start.exe」をダブルクリックします。

2 言語を選択します。

3 「ダウンロード」を選択します。

4 「PlayMemories Home」をクリックします。
これで、ソフトウェアがご指定のフォルダにダウンロードされます。

5 「PMHOME_2003DL.exe」をダブルクリックし、画面上の指示に従います。

4 “PlayMemories Home”(Mac用)のインストール

付属ソフトウェア”PlayMemories Home”では、写真や動画をコンピュータに取り込んで管理できます。
“PlayMemories Home”をインストールしなくても、本カメラで写真を撮影し、再生することは可能ですが、AVCHD動画をコンピュータに取り込むには”PlayMemories Home”が必要です。(IMAPI)Ver.2.0 以上が必要です。

1 Stellar II のCD-ROMを挿入します。

2 言語を選択します。

3 「Instalation」フォルダを開きます。

4 「PMH Link」をクリックし、画面上の指示に従います。

「Image Data Converter」を使う

RAW画像を補正してJPEG/TIFFに変換できます。

1 「Image Data Converter」(Windows用)のインストール

1 Stellar II のCD-ROMを挿入し、「start.exe」をダブルクリックします。

2 言語を選択します。

3 「Image Data Converter」を選択します。

4 「IDCをインストール」をクリックし、画面上の指示に従います。

2 「Image Data Converter」(Mac用 – 英語版)のインストール

1 Stellar II のCD-ROMを挿入します。

2 言語を選択します。

3 「instalation 」フォルダを開きます。

4 「IDC.Link」ファイルをクリックし、画面上の指示に従います。

3 「Image Data Converter」(Mac用 – 英語以外の全言語版)のインストール

1 Stellar II のCD-ROMを挿入します。

2 言語を選択します。

3 「instalation 」フォルダを開きます。

4 「IDC.Link」ファイルをクリックし、画面上の指示に従います。

使用できるメモリーカード

以下の一覧を参考にして、使用するメモリーカードを選んでください。
静止画撮影、または動画撮影で使用できるメモリーカードを○で表しています。

対応メモリーカード	静止画	動画	本書での表現
メモリースティック XC-HG デュオ	○	○	メモリースティック XC デュオ
メモリースティック PROデュオ	○	（Mark2のみ）	メモリースティック PRO デュオ
メモリースティック PRO-HG デュオ	○	○	
メモリースティック マイクロ （M2）	○	○（Mark2のみ）	メモリースティック マイクロ
SDメモリーカード	○	○（Class 4以上）	SDカード
SDHCメモリーカード	○	○（Class 4以上）	
SDXCメモリーカード	○	○（Class 4以上）	
microSD メモリーカード	○	○（Class 4以上）	microSD メモリーカード
microSDHC メモリーカード	○	○（Class 4以上）	
microSDXC メモリーカード	○	○（Class 4以上）	

ご注意

- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。メモリーカードについては、各メーカーにお問い合わせください。
- “メモリースティック マイクロ”、microSD メモリーカードを本機でお使いの場合は、必ず専用のアダプターに入れてお使いください。
- アクセスランプ点灯中は、メモリーカードやバッテリーを取り出さないでください。データやメモリーカードが壊れることがあります。

静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間

記録枚数/時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。

静止画

画像サイズ]:[L:20M]
[横縦比]:[3:2]のとき*

（単位:枚）

画質＼容量	2GB
スタンダード	295
ファイン	170
RAW+JPEG	58
RAW	88

*[横縦比]を[3:2]以外に設定しているときは、上記の枚数より多く記録できます（RAW設定時は除く）。

ご注意

・他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。

動画

動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。

容量 / 記録設定	本機でフォーマットしたメモリーカード					
	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB	64GB
60i 24M(FX)	10分	20分	40分	1時間 30分	3時間	6時間
60i 17M(FH)	10分	30分	1時間	2時間	4時間 5分	8時間 15分
60p 28M(PS)	9分	15分	35分	1時間 15分	2時間 30分	5時間 5分
24p 24M(FX)	10分	20分	40分	1時間 30分	3時間	6時間
24p 17M(FH)	10分	30分	1時間	2時間	4時間 5分	8時間 15分
1440×1080 12M	15分	40分	1時間 20分	2時間 45分	5時間 30分	11時間 5分
VGA 3M	1時間 10分	2時間 25分	4時間 55分	9時間 55分	20時間	40時間 10分

- 連続撮影可能時間は1回の撮影で約29分です(商品仕様による制限)。また、記録方式の設定をMP4(12M)にした場合、連続で撮影できる時間は約15分です(ファイルサイズ2GBによる制限)。

ご注意

- 撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR(Variable Bit-Rate)方式を採用しているため記録時間が変動します。動きの速い映像を記録する場合、メモリーの容量を多めに使用してより鮮明な画像を記録しますが、その分記録時間は短くなります。また、撮影環境や被写体の状態、画質/画像サイズの設定によっても記録時間は変動します。

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

・ 異常に高温、低温、または多湿になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
・ 直射日光の当たる場所、熱器具の近くでの保管
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
・ 激しい振動のある場所
・ 強力な磁気のある場所
・ 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

持ち運びについて

ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

お手入れについて

レンズやフラッシュ発光部をきれいにする

レンズやフラッシュ発光部に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにしてください。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下のことは行わないでください。

・ シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫 剤のような化学薬品類の使用
・ 上記が手についたまま本機を扱うこと
・ ゴムやビニール製品との長時間の接触

モニターのお手入れ

・ 手の脂、ハンドクリーム等が付いたままにするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。
・ ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
・ モニターに指紋やゴミが付いて汚れたときは、表面のごみなどをやさしく取り除いてから、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0°C~40°Cです。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因にな ります。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れて、電源を切ったまま24時間以上放置する。

本機の廃棄/譲渡に関するご注意

個人情報保護のため本機を廃棄・譲渡するときには以下の操作を行ってください。

- [設定リセット] → すべての設定をリセットする
- 個人顔の全削除

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおす すめします

バッテリーについて

バッテリーの充電について

周囲の温度が10°C~30°Cの環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消費が早くなります
- 撮影には予定撮影時間の2~3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。

・高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。
・バッテリーの端子部が汚れると、電源が入らなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布や綿棒などで軽く拭いて汚れを落としてください。

バッテリーの保管方法について

・バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度充電して本機で使い切り、その後本機を湿度の低い涼しい場所で保管してください。
・本機でバッテリーを使い切るには、スライドショーを再生して、電源が切れるまでそのままにしてください。
・本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋などに入れて金属から離してください。

バッテリーの寿命について

・バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをお買い上げください。
・寿命は、保管方法、使用状況や環境によってバッテリーごとに異なります。

Eye-Fiカードについて

Eye-Fiカードは一部の国、または地域で販売しています。
・Eye-Fiカードに関するお問い合わせは、その製造者・販売者に直接ご確認ください。
・Eye-Fiカードはご購入された国のみで使用が認められています。使用する国の法律に従ってお使いください。

安全のために

下記の注意事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は販売店にご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない
熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。
また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

フラッシュ、AF補助光などの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

長時間、同じ持ち方で使用しない。

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。以下の場合は特にご注意いただき、三脚などをご利用ください。
- 気温の高い環境でご使用になる場合。
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する
電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない
長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない
熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす
長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない
フラッシュ発光部を指・手袋などで覆ったまま発光しない。また、発光後もしばらくは発光部に手を触れないでください。やけど、発煙、故障の原因となります。

レンズやモニターに衝撃を与えない
レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる
電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください

⚠危険

禁止

- 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。

⚠警告

禁止

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。
- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。

指示

- 電池は、+、−を確かめ、正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。

<table>
<tr><td rowspan="3">お願い</td><td>リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ち下さい。</td></tr>
<tr><td>
Li-ion
リチウムイオン電池</td></tr>
<tr><td>充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、
一般社団法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照して下さい。</td></tr>
</table>

主な仕様

本体
[システム]

撮像素子:13.2 mm×8.8 mm(1.0型)
Exmor R CMOSセンサー
総画素数:約2090万画素
カメラ有効画素数:約2020万画素
レンズ:
カールツァイスバリオゾナーT*
3.6倍ズームレンズ
f=10.4 mm ～ 37.1 mm
(28 mm ～ 100 mm(35 mmフィルム換算値))、F1.8(W)～ F4.9(T)
動画撮影時(16:9):
29 mm ～ 105 mm*1
動画撮影時(4:3):
36 mm ～ 128 mm*1
*1[手ブレ補正]が[スタンダード]のとき
手ブレ補正:光学式
露出制御:自動、絞り優先、シャッタースピード優先、マニュアル露出、シーンセレクション
ホワイトバランス:オート/太陽光/日陰/曇天/電球/蛍光灯(温白色/白色/昼白色/昼光色)/フラッシュ/色温度・カラーフィルター/カスタム
記録方式:
静止画記録方式:
JPEG(DCF、Exif、MPF Baseline)準拠、RAW(ソニーARW 2.3フォーマット)、DPOF対応
動画記録方式(AVCHD方式):
AVCHD規格 Ver.2.0準拠 映像:MPEG-4 AVC/H.264
音声:Dolby Digital 2ch ドルビーデジタルステレオクリエーター搭載
・ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
動画記録方式(MP4方式):
映像:MPEG-4 AVC/H.264
音声:MPEG-4 AAC-LC 2ch
記録メディア:
"メモリースティック XC デュオ"、"メモリースティック PRO デュオ"、"メモリースティック マイクロ"、SDカード、microSD メモリーカード
フラッシュ:撮影範囲(ISO感度(推奨露光指数)がオートのとき)
約0.3 m~約15.0 m(W)/
約0.55 m~約5.7 m(T)

[入出力端子]
HDMI端子:HDMIマイクロ端子
マルチ端子*:USB通信
USB通信:Hi-Speed USB(USB 2.0)
* この商品にはマイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。

[モニター]
液晶モニター:
7.5 cm(3.0型)、TFT駆動
総ドット数:1 228 800ドット

[電源・その他]
電源:リチャージャブルバッテリーパックNP-BX1、3.6V
ACアダプター 5V
消費電力(撮影時):約1.5 W
動作温度:0 °C~40 °C
保存温度:-20 °C~+60 °C

外形寸法(CIPA準拠):
108 mm×63 mm×39 mm
(幅×高さ×奥行き)
本体質量(CIPA準拠)
(バッテリーNP-BX1、
"メモリースティック デュオ"を含む):
約298 g
マイクロホン:ステレオ
スピーカー:モノラル
Exif Print:対応
PRINT Image Matching III:対応

[ワイヤレスLAN]
対応規格:IEEE 802.11b/g/n
使用周波数帯:2.4GHz帯
セキュリティー:WEP/WPA-PSK/
WPA2-PSK
接続方式:WPS(Wi-Fi Protected Setup)/
マニュアル
アクセス方式:インフラストラクチャーモード
NFC:NFCフォーラム Type 3 Tag準拠

ACアダプター
定格入力:AC 100 V~240 V、
50 Hz/60 Hz、0.2 A
定格出力:DC 5 V、1 500 mA
動作温度:0 °C~40 °C
保存温度:-40 °C~+85 °C
外形寸法:約75 mm×約33 mm×約
45 mm(幅×高さ×奥行き)
本体質量:約75 g

リチャージャブルバッテリーパックNP-BX1
使用電池:リチウムイオン蓄電池
最大電圧:DC 4.2 V
公称電圧:DC 3.6 V
容量:4.5 Wh(1 240 mAh)

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

StellarⅡはハッセルブラッドの商標です。

- 以下はソニー株式会社の商標です。“Memory Stick”、“メモリースティック”、“Memory Stick PRO”、“メモリースティック PRO”、“Memory Stick Duo”、“メモリース ティック デュオ”、“Memory Stick PRO Duo”、“メモリースティックPRO デュオ”、“Memory Stick PRO-HG Duo”、“メモリースティック PRO-HG デュオ”、“Memory Stick XC-HG Duo”、“メモリースティック XC-HG デュオ”、“Memory Stick Micro”、“メモリースティック マイクロ”、“MagicGate”、“マジックゲート” Blu-ray Disc™およびBlu-ray™はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- AVCHD ProgressiveおよびAVCHD Progressiveロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface およびHDMIロ ゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows、DirectX、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OS、iMovie、App Storeは Apple Inc.の登録商標または商標です。
- iOSは、米国シスコの商標もしくは登録商標です。
- Intel、Pentium、Intel CoreはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi PROTECTED SET-UPはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- おサイフケータイマークは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- DLNAおよびDLNA CERTIFIEDはDigital Living Network Allianceの商標です。
- 「プレイステーション 3」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また、、“プレイステーション”および“PlayStation”は同社の登録商標です。
- Facebook、“f”ロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Eye-FiはEye-Fi, Inc.の商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

- “Works with PlayStation 3”ロゴは、特定のPlayStation 3専用ソフトウェアと連携することで、さらなる楽しみを提供する製品につけるマークです。